



- 社会基盤デザインコースの研究紹介
社会システム計画学分野

研究の紹介

◆ヘラート旧市街地都市壁の時代測定◆

アフガニスタンの古都・ヘラートの旧市街地は、かつて周囲1.5km四方、高さ30mの土で築かれた都市壁で囲まれていました(現在もその一部が残っています)。この壁の規模は、東西交易の拠点に位置するヘラートが、西からはアレキサンダー大王、東からはチンギス・カン、北からはティムールと、ユーラシア大陸の雄たちに幾度も襲撃されてきた歴史を物語っています。



しかしこれまで、この都市壁の築かれた時代についてははっきりとしたことは分かっていませんでした。そこで社会基盤デザインコース・社会システム計画学分野では、国内外の研究機関と協力してこの都市壁の時代測定に取り組んでいます。試料の採取は現地のJami Universityが担当し、試料の分析は名古屋大学宇宙地球環境研究所に委託しています。分析方法は二種類を考えていて、試料中の有機物を分離してそれに含まれる炭素の変化を分析するC14測定法と土壌に含まれる炭化物を分離してその年代を直接測定する方法です。



Message

このように近年、考古学分野でも、他の分野で使われている先端技術を利用することが盛んに行われています。都市の歴史と宇宙や地球の歴史が同じメカニズムで解き明かされるとは、面白いと思いませんか？

琉球大学卒 / 安藤 徹哉

